

25th TIFF

東京国際映画祭

TOKYO INTERNATIONAL FILM FESTIVAL

The Power of Films, Now!

October 20-28, 2012 www.tiff-jp.net

第25回東京国際映画祭 Press Release

2012年10月20日

第25回東京国際映画祭 開幕！ グリーンカーペットとオープニングセレモニーご報告

本日10月20日、爽やかな秋晴れの下、記念すべき第25回東京国際映画祭が華やかに開幕しました。特別オープニング作品のドキュメンタリー映画『JAPAN IN A DAY [ジャパン イン ア デイ]』の一部を撮影または出演する一般の方々総勢約120人が、フィリップ・マーティン監督、成田岳監督と登場、旗を振りながらグリーンカーペットのスタートを飾りました。さらに本年度のTIFFアンバサダーを務めた女優の前田敦子さんがけやき坂をゆっくりと上りながらサインや握手に応じ、沿道で待つファンをおおいに楽しませてくれました。今年度の国際審査委員長は、2009年に映画芸術アカデミー名誉賞を受賞し、60年以上もの間、映画の世界で活躍しつづけるロジャー・コマンさん。コマン夫妻ほか滝田洋二郎監督らが国際審査委員としてグリーンカーペットに登場し、多くの映画ファンが盛り上がりました。



© 2011TIFF

最後を飾ったのは、本映画祭でのオープニング上映がワールドプレミアともなるジェームズ・キャメロン製作総指揮『シルク・ドゥ・ソレイユ3D 彼方からの物語』。主演のエリカ・リンツさん、本映画のオフィシャル・ナビゲーター上戸彩さん、驚異的なパフォーマンスを披露した本場シルク・ドゥ・ソレイユのパフォーマー達が登場しました。

オープニングセレモニーは会場をTOHOシネマズ六本木ヒルズのScreen7に移しての開催。依田異チェアマンが登壇し「グリーンカーペットを設立してから5回目となる東京国際映画祭はく今こそ映画の力、“The power of films, now” >というスローガンでスタートします。昨年の第24回東京国際映画祭にて東京サクラグランプリを受賞した『最強のふたり』が世界を席卷しています。今年の本映画祭のコンペティション部門へのエントリー作品数は1332本で、昨年より36%の増加となっています。5年前の第21回の際のエントリー数は690本でしたので、この5年で倍増しているわけです。本映画祭に対する内外の映画製作者のみなさまの期待が高まっているということだと思っています。1985年にスタートした東京国際映画祭ですが、当時より様々な局面でご協力・ご助言いただき、その後も東京国際映画祭を長きに渡り見守っていただいていた恩人は大勢います。その中でも本日は、香港のレイモンド・チョウさんに特別感謝賞をお贈りする運びとなりました」と述べ、第25回東京国際映画祭の開幕を宣言しました。

25th TIFF 東京国際映画祭

The Power of Films, Now!
TOKYO INTERNATIONAL FILM FESTIVAL October 20-28, 2012 www.tiff-jp.net

次に登壇した**枝野幸男経済産業大臣**からは、「この映画祭に世界中から多くのみなさまにお越し頂いていることを心より歓迎申し上げたいと思います。今年のテーマは「映画の力」ですが、私も経済産業大臣を1年間務めさせていただき、「映画の力」の重要性を再認識しているところです。この1年、日本の芸能文化・日本の価値というものを世界のみなさまにお伝えして、それを日本の産業のひとつの大きな柱にしていこうと「クールジャパン戦略」を強力に推し進めて参りました。日本のコンテンツや文化、風習には大変大きな力があると思っています。日本のアニメには世界一の競争力がありますし、J-POPには強い潜在力があると思っています。こうした文化や芸術の力が最も大きくあらわれるのが映画だと思っています。日本の「映画の力」を引っ張る最大のイベントが東京国際映画祭だと思っています。」との力強いエールがありました。コンペティション部門の作品と国際審査委員が紹介され、審査委員長の**ロジャー・コーマン氏**は、「私が審査委員として東京映画祭に出席するのは1994年以来です。私も審査委員も出展作品を初めて見るのですが、非常に素晴らしいラインアップで審査を楽しみにしています。」と抱負を語りました。その他の部門「**アジアの風**」「**日本映画・ある視点**」「**ワールドシネマ**」「**natural TIFF supported by TOYOTA**」および各審査員の紹介に続き、特別オープニング作品である『**JAPAN IN A DAY [ジャパン イン ア デイ]**』が紹介されました。オープニングセレモニーの直前に開催された本作品の上映会では、製作総指揮の**リドリー・スコット氏**からの手紙が読み上げられています。「『LIFE IN A DAY 地球上のある一日の物語』を製作した当初は、この独特の表現方法がこれからどう発展していくのか、全く想像できませんでした。ただ世界の人々の生きている様、その素晴らしさを分かち合いたいという一心でした。本作は同じ製作方法で、悲劇の日から1年後の2012年3月11日の日本人のありのままの姿を切り取っています。すると、こちら想像を遥かに超えるユニークで、感動的で、運命的な作品になるとは、嬉しい誤算でした。この美しいドキュメンタリー作品の製作にかかわってくれたすべての方々に感謝したいと思います。東京国際映画祭の特別オープニング作品としての上映という素晴らしい日を共に過ごすことができず非常に残念ですが、私の心はみなさんと共にあります。」なお、本作品は映画祭会期中の10月22日に再上映が予定されています。

つづいて、東京国際映画祭の設立時からの多大なる貢献・功労を称え、香港の映画プロデューサー**レイモンド・チョウ氏**に対し「TIFF特別感謝賞」が贈られました。残念ながら、中耳炎の悪化によるドクターストップのためチョウ氏の来日は叶いませんでしたが、代理人としてオープニングセレモニーに出席した香港国際映画祭チェアマンの**ウィルフレッド・ウォン氏**が代わりに賞を受け取り、「お集まりの皆様、依田チェアマン、このたびは素晴らしい賞を頂くことができまして大変嬉しく思います。映画人として世界各国を旅しましたが、東京国際映画祭は私にとって本当に特別な場所です。東京で皆様とともにこの受賞を分かち合いたかったと、とても残念に思っています。このような素晴らしい賞を頂きましたことに対し、心より御礼申し上げます。有難うございました」と、**チョウ氏**からのメッセージを読み上げました。

そして公式オープニング作品の『**シルク・ドゥ・ソレイユ3D 彼方からの物語**』からは**アンドリュー・アダムソン監督**、製作総指揮の**ジャック・メテ氏**、主演女優の**エリカ・リンツさん**、そして本作品のオフィシャル・ナビゲーター**上戸彩さん**が登壇。まずは**アダムソン監督**がマイクを取り、「お招きいただき非常に光栄に思っています。初めにジャックよりシルク・ドゥ・ソレイユの3D作品をつくらないかともちかけられた時はなぜ？と疑問に思いましたが、シルク・ドゥ・ソレイユという素晴らしい芸術を異なる手法で再現し、世界中の人々と共有する機会が与えられたことに感謝しています。」と挨拶しました。そしてメテ氏の「この作品を作ることは素晴らしい体験だったので、みなさまとこの作品を共有することはこの上ない喜びです。日本は20年もの間、シルク・ドゥ・ソレイユを非常に温かく迎えてくれている国であり、日本で開催されている東京国際映画祭で本作品を世界に先駆けて上映できることを大変光栄に思っています。」とのコメントに続き、**エリカ・リンツさん**が「コロラド州で幼少時代を過ごした私は子供の時は世界を旅行する機会も、シルク・ドゥ・ソレイユのショーを見るお金もありませんでした。初めてシルク・ドゥ・ソレイユのショーを見たことが私の人生を変えたのです。今日、この東京という街でみなさまの前に立っていること、シルク・ドゥ・ソレイユの世界をみなさまと共有することをとても光栄に思います」と感慨深げに語りました。

25th TIFF

東京国際映画祭

The Power of Films, Now!

TOKYO INTERNATIONAL FILM FESTIVAL

October 20-28, 2012 www.tiff-jp.net

オフィシャル・ナビゲーターの上戸彩さんは「私はシルク・ドゥ・ソレイユの大ファンなのですが、この作品は日本で見る事ができるステージともまったく違っているんです。深いストーリー性がありながらも、おしゃれなカフェのような音楽が使われていたり、世代によって違う楽しみ方ができる素晴らしい作品だと思います。」とコメントしました。また、製作総指揮の**ジェームズ・キャメロン氏**による「コンニチハ。私自身が大ファンであるシルク・ドゥ・ソレイユの世界をこれまで誰も見たことがない手法でお届けできることを大変喜ばしく思っています。本作品では3Dで撮影することにより、シルク・ドゥ・ソレイユのパフォーマンスやコスチューム、ステージデザインなどをスローモーションやクローズアップなどの手法を用いることによってより鮮やかに表現することができました。本作品が公式オープニング作品に選ばれて大変光栄に思っています。私は東京国際映画祭との縁が非常に深く、15年前には『タイタニック』が第10回東京国際映画祭の公式オープニング作品として上映されています。シルク・ドゥ・ソレイユは究極のエンターテインメントであり、その世界観をこの映画を通じてぜひ感じていただきたく思います。」とのコメント映像が上映されました。

東京国際映画祭の期間中、六本木を中心に、東京一帯が映画の街と変わります。映画上映はもちろん、監督による舞台挨拶や様々なスペシャルイベントや催しものが用意されております。ムービーカフェ、六本木ヒルズアリーナ他にてぜひお楽しみください。

(注※)国際映画製作者連盟:世界の映画産業、国際映画祭の諸問題を改善、検討する国際機関。パリに本部を置き、世界23カ国(2012年2月現在)が加盟している。

=====
写真・映像と合わせまして、下記クレジットを必ずご明記いただけますようスタッフ一同お願い申し上げます
第25回東京国際映画祭 (10月20日(土)～10月28日(日))

会場: TOHOシネマズ六本木ヒルズほか オフィシャルHP: <http://www.tiff-jp.net>

=====
オープニングイベント画像及び出品作品のスチール等はイメージネットにて配信いたします。

<http://www.image.net>

【お問い合わせ先】

マンハッタンピープル丸目(090-9142-2816)、渡辺(080-4360-9388)、相良(090-1996—4252)

東京国際映画祭事務局コミュニケーション広報グループ宣伝チーム

TEL: 03-3553-4793 FAX: 03-3553-4788